

# 社会福祉法人 輔仁会は 創立50周年を迎えました

理事長/統括園長 大浦 純平



**新宮つぼみ保育園年報 第4号**  
 2014年(平成26年)8月5日発行  
 発行/編集  
 社会福祉法人 輔仁会 新宮つぼみ保育園  
 〒811-0111 糟屋郡新宮町大字三代944-8  
 [TEL] 092-941-2233 [FAX] 092-941-2244  
 [E-mail] s-tsubomi@kou.bbq.jp  
 [HP] http://www.hojinkai.ed.jp/s-tsubomi/

お陰様で、輔仁会は今年で創立50周年を迎えました。  
 昨年より、つぼみ保育園の歴代父の会々々長を中心に記念事業実行委員会が組織され、来月11日に記念式典を実施していただける運びとなっております。実に有り難いことです。  
 現在当法人はつぼみ保育園・さわらび保育園・新宮つぼみ保育園の三園と二つの分園を合わせ五施設を運営する法人へと成長してまいりました。これも一重に、今まで勤務して頂いた職員の皆様に支えられてきたこと、保護者の皆様の多大なご協力の賜と存じます。

この間、お預かりした園児の総数は約五七〇〇名、勤務頂いた職員数は現職も合わせ七〇二名です。  
 因みに、つぼみ保育園の第一回卒園児の年齢は五五歳になります。  
 設立の頃にさかのぼって見ますと、福岡市は昭和三十九年に社会福祉法人に用地を貸付て民間による保育園設置を市の保育施策とすることを決議しました。当時、博多区の保育園で主任保育をしていた母(大浦純子)は市の説明会に参加し、自分でもできると思ったので、家に戻った母は興奮気味で、私保育園を作るわよと目を輝かせていたのを覚えています。私はまだ高校一年生でした。  
 すぐに市と折衝を始め、社会福祉法人の設立準備と建築計画に取り組み

み、福岡市の助成金を受け、昭和四〇年四月に東区千早につぼみ保育園(定員一〇〇名)を開園しました。木造平屋建ての園舎の建築代金は六二五万円、市の助成金は四五〇万円でした。自分資金は一七五万円、当時の母にしてみれば大金だったはず。その後、昭和四五年四月には東区八田にさわらび保育園(定員一〇〇名)を開園し、同時につぼみを増築し定員を一五〇名にしました。  
 以後、両園は福岡市の要請を受けて増改築を実施し、その度に増員をしながら現在の定員はつぼみが分園込みで二八〇名、さわらびが二五〇名となりました。  
 私ことですが、昭和五二年に民間企業を辞し、保育養成校にて保育士資格を取得し、昭和五四年四月にさわらび保育園に就職、年長クラスの保育士として現場を四年間体験し、昭和五八年にはつぼみ保育園の園長に就任しました。  
 平成一五年に母は輔仁会の会長となり、私が理事長を拝命し、法人の切り盛りを任されることになりました。  
 時を同じくして新宮町の保育園設置者の公募があり、応募した多くの事業者の中から指名を受け、平成一七年七月に、新宮つぼみ保育園(定員二二〇名)を開園しました。  
 その後、平成二二年、私は三園の統括園長に就任し現在に至っています。  
 今年四月には新宮中央駅前分園(定員三〇名)を開園し、今年度中には新宮つぼみ本園の増員を行い一五〇名定員とする予定です。  
 このように、輔仁会は母から私へと受け継がれてきました。その母も一昨年八月に亡くなりました。そして、私も母の遺志を大切に、つづいて、次世代に輔仁会を渡す準備をしなければならぬ年齢になってきました。  
 園便りの五月号にも書かせていただきましたが、平成二七年度(次年度)に

はいよいよ、子ども子育て新制度が導入されます。  
 この新制度の根底には、保育も介護同様、規制緩和を行い市場原理を導入すれば、多くの事業者(株式会社等)が参入し、競争が始まり、安い金額で質の高い保育をするだろうという安易な発想が流れています。  
 また、あるところから新制度では保育園でも認定こども園に移行すれば、教育が出来るようになるという間違った認識が喧伝ケツンされています。  
 更に、消費税増税は社会保障充実と一体であると、新制度に一兆を超える財源を見込んできたはずなのに、ここに来てそれも揺らぎ始めています。  
 そんな状況にも拘わらず、新制度の目玉ともいえる、認定こども園に移行するかどうかの調査が既に始まりました。  
 勿論、輔仁会は児童福祉施設としての保育園を運営することを基本に据えてまいります。

今まで保育園の「教育」と「養護」について常に研鑽を繰り返し、積み重ね、吟味をしながらよりよい保育を行うことを心がけ、時の流行に左右されることなく、早期教育という甘い言葉には背を向けてまいりました。  
 身の丈以上の知識の押し込みや訓練を教育と称して行う必要性は全くないのです。  
 子ども達は連綿とした日々の営みにより育っています。十分に遊び込むことが出来る物的環境があること、子どもたちと保育者、保護者と保育者の間にしっかりと信頼関係をもてる人的環境があること、二つが大切であり、そこに力を傾注することが「保育の王道」と確信しています。  
 母が創業した保育事業をこれから、法人役員の皆様をはじめ、職員及び関係者各位のご協力をいただきながら、継承発展させてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

## 10年目の嬉しいこと 園長 大浦 まゆみ

平成26年7月1日、新宮つぼみ保育園は満9歳の誕生日を迎えました。年度としては今年が10年目となります。法人の50周年には遙かに及びませんが、歴史の始まりかも知れません。この9年間に卒園したお子さんが221名、毎月発行している園便り「ふきのとう」が6月で第100号となりました。職員はたくさん入れ替わりがありましたが、保育の理念は変わることなく受け継がれているつもりです。

子どもたちへは、「あなたは大切な存在」という思いをたくさん伝えてきました。友だちと同じ行動や演技ができないからとか、大きな声で歌わないとか、苦手なものが食べられないなどの理由で叱って「自分を否定された」と感じさせたことは、決してないと思っています。子どもって個性豊かで、色んなこと、やり方が一人一人皆違うのが当たり前、成長のスピードも皆違う…。もちろん、こんなことは決して欲しくないなあとか、こんなふうにして欲しいとか、私たちの願いはいっぱい伝えてきました。が、まずは一人一人の気持ちを受けとめ、ありのままのあなたが好きという思いを先に伝えてきたつもりです。それが、将来、自信を持って生きていくことにつながり、自分の意見をはっきり持ちながら周囲の人と協調していける人間になることにつながる、と確信しているからです。

卒園児が、その後どんな姿になっているか、気になるところです。運動会などでとても生き生きとした表情や行動を見かけたり、町の情報誌でスポーツ大会の結果や文芸コンクールの記事などの所に名前を見つけたらすると、嬉しくってたまりません。  
 人は誰でも皆、良いところ、得意なこと、自分らしく輝いていられること、を持っているも

のです。学業の成績だけにとらわれず、自分らしくまた人と協調しながら生きる道を求めて、持つて力を発揮しながら進んでいって欲しいなと思っています。

さて発展著しい新宮町ですが人口が増え、町の要請を受けてこの4月に0~2歳児のみ預かりする「分園」をオープンいたしました。そのことにより、来年度には本園の3歳以上児を1クラス増やす必要があり、今年度園舎内の改修工事を行います。1階玄関を入ってすぐの「さくら」の部屋を年長組の保育室にし、2階ホール「たんぼぼ」の部屋をステージを作る予定です。年長組の発表会を今まででぜひあしんぐうにて行っていましたが、練習できるのは直前の1週間だけ、しかも寒い中子ども達の足で歩いて行く、数多くの大道具を運びこむ、など様々な困難がありました。園内に幕やスポットライトを備えたステージがあるホールで発表会を行うことができれば…、という長年の夢が叶いそうです。工事中はご不便やご迷惑等おかけするかも解りませんが、数倍充実した発表会ができると期待してください。

もう一つ、嬉しいことがあります。「父母の会」が、今まさに誕生しようとしています。開園以来ずっと保護者でいらした上敷地さんはじめ、何人かの方が立ち上がってくださいました。子どもたちを真ん中に、保護者と園の距離がより近くなり、ともに育てともに喜び合う、ということが更に充実してできることと期待しています。

来年、保育の制度が変わっても、新宮つぼみ保育園は決して変わらず、「あなたは大切な存在」であることを伝えていきたいと思っています。

## 保護者の寄稿 父母の会発足に向けて

父母の会発起人代表  
上敷地 白馬

私の長男が新宮つぼみ保育園一期生のもも1組さんにお世話になるようになってから、9年の月日が経ちました。  
 当初はまだ子育てもよく分からず、共働きのなかで協力し合っただけで頑張っていたこと、いろいろ活動をしていて、思い出し、新宮つぼみ保育園にお世話になり、保育園の先生方や、保護者の方と仲良くさせていた、子育ての悩みなど意見交換させていた、いろいろな事を教えてもら

い、やっと一人前に子育てが出来ようになったのかと振り返って思います。保育園とのつながり、保護者同士のつながりから、いろいろなこと学べ、精神的にも孤立しなくて安定した子育てが出来たのかなと思えます。

新宮つぼみ保育園も10年目を迎え、新宮つぼみ保育園父母の会を立ち上げようとするところ。保育園とのつながり、保護者とのつながり、子どもたちのために、いろいろな活動をしていて、思い出し、新宮つぼみ保育園にお世話になり、保育園の先生方や、保護者の方と仲良くさせていた、子育ての悩みなど意見交換させていた、いろいろな事を教えてもら

今後とも保護者の皆様、保育園のご協力をいただき、よりよい父母の会にしていきたく思っています。みんなで創り上げるものを、子どもたちの思い、成長につなげていき、楽しく活動できたらなと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

**お知らせ**  
 今年度の三園合同音楽祭は輔仁会の創立50周年を記念して、1月11日に福岡市国際会議場にて開催します。

平成二十六年度 行事	本園
4月3日	新年度説明会
4月5日	健康診断
4月24日	4月の集い(端午の節句)
5月17日	親子保育
5月20日	5月の集い
5月21日	歯科健診
6月30日	交通安全教室
6月7日	一日保育士月間
6月12日	もも1・もも2組懇談会
6月14日	6月の集い
6月14日	うめ組懇談会
6月21日	年長組懇談会
7月4日	お泊り保育(5才児)
7月5日	7月の集い(七夕)
7月7日	8月の集い
7月11日	9月の集い
8月11日	運動会
8月23日	10月の集い
9月11日	赤・白組遠足
9月11日	青組遠足(三日月山登山)
11月15日	健康診断
11月20日	一日保育士月間
11月20日	リトミック公開保育
12月4日	11月の集い
12月13日	12月の集い
12月20日	親子保育
1月8日	もちつき
1月11日	1月の集い
1月15日	輔仁会50周年法人合同音楽祭
1月15日	地域交流会
1月31日	年少発表会/懇談会
2月3日	2月の集い(豆まき)
2月14日	年長発表会(3・4・5才児)
2月28日	年長組懇談会
3月3日	3月の集い(桃の節句)
3月22日	卒園式
3月24日	次年度入園式
3月24日	未定(遠足(3・4・5才児))
4月19日	親子保育/新年度説明会/懇談会
4月24日	健康診断
6月2日	一日保育士月間
7月2日	歯科健診
7月25日	親子保育
10月	健康診断
11月	一日保育士月間
11月21日	歯科健診
11月21日	親子保育/懇談会

